

Picosmos Tools を使って 写真に文字入れ

写真に文字を挿入する手法については、種々講座を持ってきましたが、今回は「Picosmos Tools」というフリーのソフトを使って、超簡単に文字入れをする方法です。

1. ソフトの入手とインストール

(1) ダウンロード

このソフトは、Picosmos 社のダウンロード ページから入手することができます。

URL は、<http://www.pcfreetime.com/picosmos/index.php?language=ja> です。

(2) インストール

インストールを実行すると不要なソフト（アドウェア等）が併せて取り込まれることが有りますので、会場で正会員の指導を受けながら行ってください。

個人で実行する場合は、自己責任で（不要なアドウェアの取り込み等に注意しながら）インストールしてください。

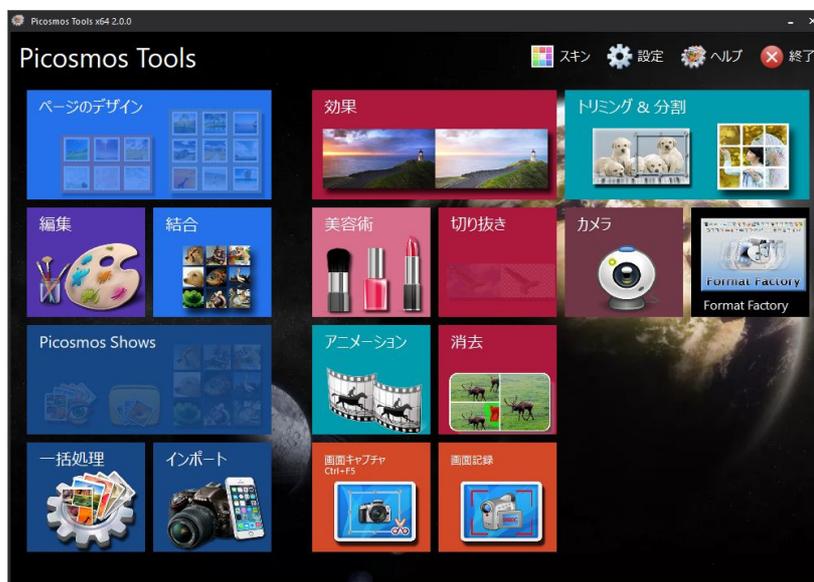
インストールが終わると、デスクトップにショートカット アイコン（右図）が出ます。



2. Picosmos Tools を起動する

(1) デスクトップの Picosmos Tools アイコンをダブルクリックして起動します。

起動画面



PicosmosTools は、「パワフルかつシンプルなフリーのグラフィックソフト」（作者談）です。

難しい操作は設定されてなく、感覚的に操作できます。

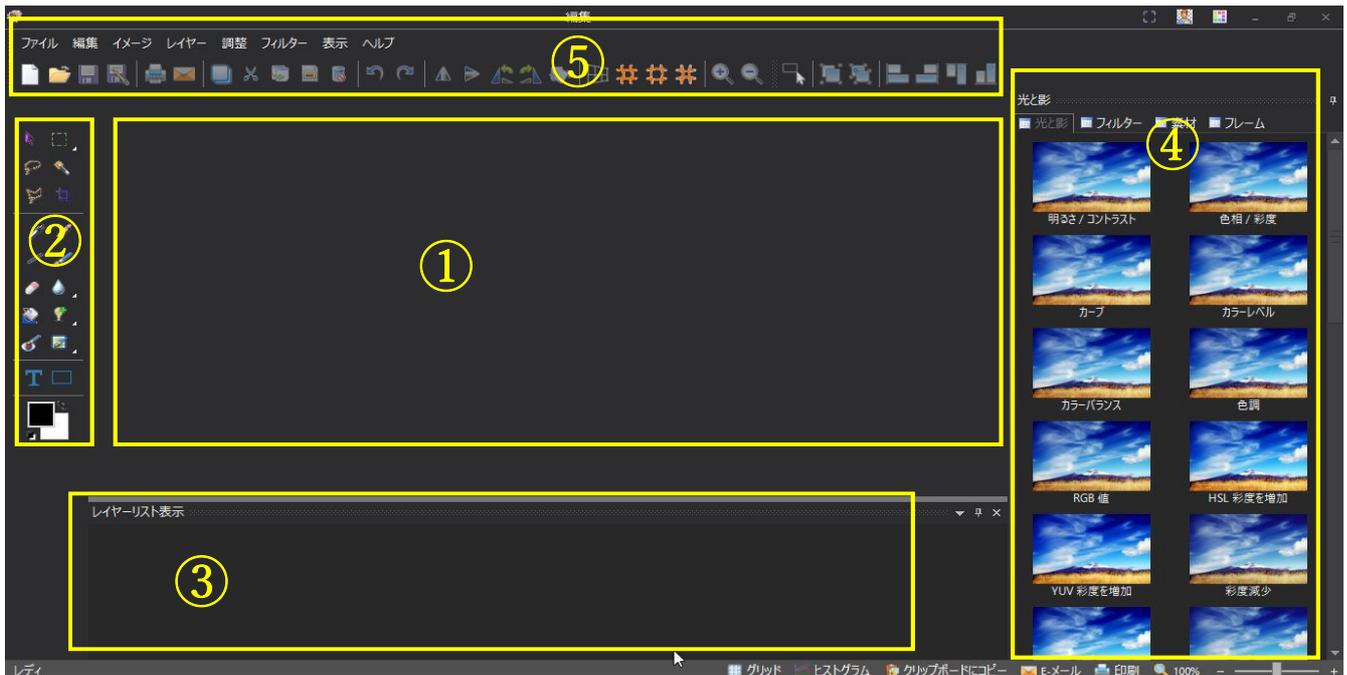
あれこれ考えるより、目の前にあるボタン（アイコン）をクリックして、実行あるのみです。

(2) 編集画面を開く

起動画面の「編集」ボタン（右図）をクリックして、「編集」画面を表示します。



編集画面は次ページの図のように、構成されています。



- ① 画像編集ウィンドウ 作業場所（写真等が表示される）
- ② ツール 編集作業に応じたツールをクリックする
- ③ レイヤーリスト表示 写真と文字列（テキストボックス）のレイヤーが全て表示される
- ④ エフェクトバー レイヤーに加える効果が4つのタブに整理されている。
- ⑤ メニュー メニューバー&メニューボタン

3. 写真に文字を入れる

(1) 写真を選ぶ

メニューバーの「ファイル」－「開く」をクリックして、PC内の写真を選択し、「開く」をクリックすると、画像編集ウィンドウに写真が表示されます。

(2) 写真にテキストを挿入する

- ① ツールの「テキスト」ボタンをクリックする。
- ② 開いた「テキストの設定」画面の、「ここに内容を入力」と表示された場所に文字を入力します。
- ③ フォント、フォントサイズ、文字の表示形態を選択して「OK」を押します。
なお、フォントサイズは、写真のサイズが大きいとかなり大きなサイズが必要です。
- ④ 写真に文字（テキストボックス）が表示される。



(3) 文字（テキストボックス）を加工する

テキストボックスの四隅にボタンが表示されます。

★ ボタンの説明

左上：ポップアップオプションメニュー（クリックしてオプションメニューを表示します。メニューは下記4. の項参照）

左下：レイヤーを回転させる（ドラッグして回転させる）



右上：レイヤー（テキスト）の削除ボタン

右下：レイヤーのサイズ調整（ドラッグして調整する）

(4) テキストレイヤーの移動

レイヤーの上にマウスポインタ（右図）を置いてドラッグすると移動することができます。



4. レイヤー（写真・文字）に効果を付ける

★ ポップアップオプションメニューを使う（右クリックでも表示される）

- ・可視 チェックを外すと見えなくなる
- ・ロック チェックを付けるとテキストがロックされる（移動不可）
- ・視点 ハンドルをドラッグしてテキストの形状を変更（変形できる）する。

メニューを実行する前に、イメージレイヤーへの変換を求められるので、「OK」を押す。

四隅のハンドルをドラッグして拡縮します。



- ・切り取り Wordの「切り取り」と同じ機能
- ・コピー Wordの「コピー」と同じ機能
- ・貼り付け Wordの「貼り付け」と同じ機能（イメージレイヤーとして貼り付けられる）
イメージレイヤーなので文字の変更はできない。
- ・複製 複製元に重なって複製される（**完全に重なっているので要注意**）
テキストレイヤーとして貼り付けられるので、文字の変更が可能です。
（変更は、下記「テキスト」の項参照）
- ・削除 テキストボックスの削除
- ・前面 指定したテキストボックスが他のテキストより前面に表示される
- ・背面 指定したテキストボックスが他のテキストの背面に表示される
- ・テキスト 選択しているテキストボックスの文字を変更できる
（レイヤーをダブルクリックしてもよい）
- ・陰影をつける 文字に陰影をつける（エフェクトバーの「光と影」でも可）
- ・輪郭線を追加 テキストボックスに輪郭線を付ける
- ・レイヤー名を変更 レイヤー名を変更する
- ・オプション 不透明度：テキストの不透明度を設定する
 回転：テキストボックスの回転を設定できる
（テキストボックス左下に表示される回転ボタンと同じ効果です）
 サイズ：テキストボックスのサイズを変更できる
（同時に文字の大きさも自動的に変更される）

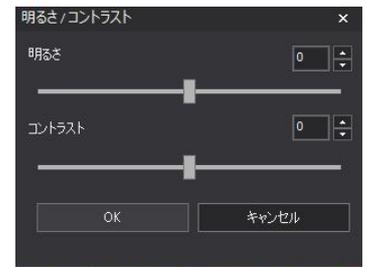
★ エフェクトバーを使って効果を付ける

① 「光と影」タブ：写真・文字の表示効果を変更する

効果を選んでクリックすると、ダイアログボックスが表示されるので、ここで効果の度合いを設定します。

例えば、「明るさ/コントラスト」を選ぶと右図のダイアログボックスが表示されるので、スライダーを動かして明るさ・コントラストを設定します。

なお、ダイアログボックスの内容は、選んだ効果によってそれぞれ異なります。



(参考) 対象のレイヤーが見えるように、テキストボックスを移動（ドラッグ）しておく、プレビューで効果が確認できます。

② 「フィルター」タブ：写真・文字に特殊効果を加える

上記光と影と同様に効果を選んでクリックすると、ダイアログボックスが表示されるので、表示された画面で効果を設定します。

右図は「太陽光」を選んだ場合の画面です。



③ 「素材」タブ：写真に図形等を追加する（顔、食べ物、建物など）

種々の素材がフォルダで分類されているので、フォルダを開いて選択します。

画面への取り込みは、素材のダブルクリック、またはクリックして表示された「+」記号をクリックすると取り込み完了です。

取り込んだ素材には、テキストボックスと同じボタンが四隅に表示されているので、形状変更等を行うことができます。



④ 「フレーム」タブ：写真・文字にフレームを追加する

適用しようとするフレームを選んでクリックすると、ダイアログボックスが表示されるので、フレームの太さ等を指定して、「OK」を押します。

右図のようなダイアログボックスが表示されますので、枠の太さをスライダーで調整しますが、大きくしすぎると文字が見えなくなることがあります。



5. 加工した写真を保存する

加工した写真は「メニュー」-「保存」、または「メニュー」-「名前を付けて保存」をクリックして保存します。

① 「保存」を実行すると、元画像と同じフォルダ内に保存される。

② 「名前を付けて保存」を実行すると、基本的にピクチャ内に保存される。

保存形式は、「.pfd」（作業ファイル）と「.jpg」など（画像ファイル）を選択して保存できます。

「.pfd」形式で保存すると、再度加工することができます。

作業ファイルを再加工するには、ファイルの上で右クリックし、「Picosmos Toll」-「編集」を実行すると、画像編集ウィンドウが開きます。

6. 終了する

- ①「画像編集ウインドウ」の「×」ボタンをクリックして、現在の編集を終了します
- ②「編集画面」の「×」ボタンをクリックして、編集を終了します。
- ③「起動画面」の「×終了」ボタンをクリックして、PicosmosTool を終了します。

以上、Picosmos Tool を使って、写真に文字を入れる場合のツールの使用方法についての説明でした。使い方が分かっておれば、後は皆さんがいろんなアレンジをして、文字入れを楽しんで頂くことができると思いますし、アルバムやスライドショーのタイトル画面、或いはチラシの作成等利用範囲が広がることを期待しています。

—以 上—